

# 本部町立水納小中学校

## シャコガイ放流

2010年3月3日 水納島

体験学習の一環として、ヒメジャコの種苗を放流しました。



水納小中学校の児童・生徒(小学生4名、中学生1名)と  
教職員ほか関係者のみなさん。



栽培漁業センターで生産されたヒメジャコの種苗(殻長18mm前後)  
「小っちゃい~!」「かわいい~!!」



シャコガイの種苗生産担当者が、放流の方法を説明しています。  
子供たちにも事後観察がしやすいように、大潮の時に干上がる岩場を選びました。  
天然のヒメジャコもちらほらと見ることができ、生息環境としては良い場所です。  
放流に向けて、前の週に事前学習も行っています。



ハンマーとタガネを使って、小さなシャコガイがすっぽり入る穴をあけます。  
後で観察がしやすいように、また、放流されたものであることがわかりやすいように、  
岩の上に目の粗い金網を置いて、編み目ごとに穴をあけていきます。



水納小中学校オールスターズ。

新聞記者のカメラに向かって、ちょっと緊張しているかな？ (^-^)



子供も大人も一緒になって、穴あけに集中しています。



作業の途中、波打ち際でアオリイカ(シルイチャー)の卵を見つけました。  
透明な卵の中に見えるイカの赤ちゃんに興味津々。



タガネであけた穴に、シャコガイの種苗をていねいに入れていきます。



シャコガイが穴の中から逃げ出さないように、目の細かい網をかけ、  
その上から穴をあける目安にした金網をかぶせます。



かぶせた金網を固定してできあがり。シャコガイが穴の中に活着した頃に、網を外します。



作業が無事に終わり、校長先生のお話。児童生徒も、一人ずつ、感想を発表しました。

タガネによる穴あけには結構力が必要で、小学生にはちょっと難しかったでしょうか。

これからの、シャコガイの成長観察が楽しみです。



放流作業に当たり、島で唯一のダイビングサービスを経営する植田夫妻から資材提供のご協力がありました。ありがとうございました。